

では、修業を始めるとしよう。

初日

師 範：紀元57年に漢の皇帝から倭(わ)の国の小国「奴(な)の国」の王に金印が渡された。



これは中国の古い歴史書に書かれている記事です。

それが江戸時代に博多の志賀島(しかのしま)の農民が偶然にこの金印を土の中から見つけたことから、記事が正確で、場所も博多付近に倭の奴の国があったことがわかりました。

この発見は、大変なことだったのです。

57年 漢の皇帝から倭の奴国王に金印があたえられる。

では、これを語呂合わせで、覚えられるように工夫してみましょう。

コン太：先生、これはどうでしょうか。



「漢の金印いつ奴の国に届いたか」

「いつ」が5を表し、「奴=な」が7を表しています。

これで57年ということが、わかります。

師 範：漢、金印、奴という大切な語が入っているし、「渡された」という関係も「届く」という表現で出ています。

音の並びからいうと七・七・五で調子もよいですね。

なかなかよくできましたね。

ペン太：できました。

「発見後 奴の国もわかった博多の金印」

「後」が5を表し、「奴=な」が7を表します。

ぼくは57をゴナと読んだんです。

師 範：金印が博多から発見されて、奴の国の場所がわかったということが、素直に表されていて、なかなかいいですね。

最初にしては、ふたりとも上でき。この調子でつくっていきましょう。

